



五加の学び舎

R6. 7. 1 (月)
千曲市立五加小学校
学校だより No.5

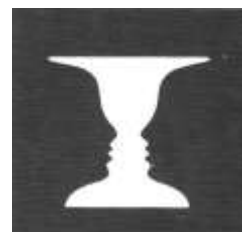
1 学期校長講話(抜粋)から「ひび割れ壺と少年」

～多様性・個性を認め合える五加小学校に～

「さて、全校の皆さんに問題です。これ(右絵)は何に見えますか。
白に注目すると・・・入れ物や器に見えたり、
黒に注目すると・・・向き合っている人の横顔に見えたりします。

これは、『ルビンのつぼ』というアート作品です。同じものを見ても、どこに注目するかによって、見え方がちがうのですね。

今日は、一冊の本『ひび割れつぼと少年』を紹介するので、そんなことを考えながら聞いてみましょう。」



「この水くみの少年は、ひびわれつぼの『ひび』を、どう見ていたのでしょうか・・・。
人はだれでも『欠点や弱点』をもっています。でも、ひびわれ壺が自分で『欠点や弱点』と
思っていたことも、この少年のように見方を変えると、『良さや強み』にもなる
のですね。

『自分も幸せ みんなも幸せ』な五加小学校にするために、お互いのちがいや個性を認め合える五加小学校になることを願っています。」

【児童の振り返り】

- 私は、校長講話を聞いて、だれでも苦手なことがあるけど、でも見方を変えるといいところも見えてくるとわかりました。なぜなら、私は泳ぐことができなくてはずかしいなと思っていたけど、今日、校長先生のお話を聞いて、見方を変えてみると、いいところも見えてきたからです。校長先生が言ったように、個性をみとめて、みんなが幸せな五加小学校、そして、みんなが幸せな世界にしていきたいです。(3年生)
- ・・・相手を責めてはいけない、ということを感じました。最初のもんだいで、私は友達と相談しました。すると友達は「ハニワ?つぼ?」と言っていました、私は向かい合っている顔にしか見えませんでした。だから、「何言っているの?」って感じがしていました。でも、校長先生の話最後までしっかり聞いてみると、自分が全部正しい訳ではなく、相手も正しいかもしれない。だから、全て自分が正しいと思わないということが大切だと思いました。(6年生)
- ・・・人には弱点や欠点があるはずあって、でも、その弱点や欠点がある、どこかで長所になったり、役に立ったりすることがある、ということを知りました。だから、人の個性や弱点、欠点を悪く思ったりしないように、自分でも心がけたいと思いました。(6年生)
- ・・・この話を聞いて、私がツボだったことを考えたら、ツボは少年の話を聞いて、とってもうれしかったと思います。だから自分や友達の欠点、弱点を私がいいものにしてあげたい、そう思いました。(6年生)

★各ご家庭でも、ぜひ話題にしていただけると幸いです。